

## 市所有の4棟 減額譲渡

伊豆議会  
30議案可決

伊豆市議会は22日、9月定例会最終本会議を開き、委員会付託していた補正額9億8130万円を歳入・歳出に加える2023年度一般会計補正予算案、財産の減額譲渡など30議案を可決した。

減額譲渡は、市が所有する旧天城湯ヶ島支所など計4棟を、同所で東京ラスク・伊豆フアクトリーを運営するグランバー東京ラスクに不動産鑑定評価額約1億1千万円のところで、11分の1の約1千万円で売却する内容。討論では「新たな固定資産税などで税増収が見込める」「雇用拡大などによる地域貢献が期待できる」などの賛成意見、「交渉のプロセスが不透明」「差額の1億円は市民の損失」などの反対意見が出された。